

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

59

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。病院完結型から地域完結型の医療、介護にシフトしていく中で多職種を結ぶキーパーソンとなるのが看護師です。

そして急速に進む超高齢化社会、多死社会において重要な役割を担っているのが訪問看護師になります。地域包括ケアシステムの構築が推進される中で、訪問看護師の使命は「病気になったとしても、



地域の皆様が住み慣れた地域で最期まで生活することを支えていくこと」だと考えています。そのような中で地域における訪問看護ステーションの役割は特に重要です。

地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割

かつ た 勝田 ひろみ

諏訪赤十字訪問看護ステーション



諏訪赤十字訪問看護ステーションの看護師

諏訪赤十字訪問看護ステーションは、一般的な疾患から医療依存度の高い方まで地域の皆様が住み慣れた場所で最期まで暮らせるよう支援することを目指しています。その

ため諏訪赤十字訪問看護ステーションは地域の機能強化型訪問看護ステーションとして、24時間対応や看取りを担っています。さらに地域の訪問看護師の教育の底上げとして、ライフドアすわや訪問看護部会と連携しオンラインを活用した研修会を開催しています。

訪問看護師は多職種を結ぶキーパーソンを担っています。病院等で十分な経験を積むことで訪問看護もすぐに行うことができるのかといえは決してそうではありません。病院では患者さんの状態に変化が起きた時、すぐに検査を行い適切なケアができます。しかし在宅では目の前で起きている変化や悪化に対し素早い判断を行い、ケースに応じた適切かつ柔軟な対応をしなくてはなりません。質の高い看護力をつけるためには、ライフドアすわや訪問看護部会と連携し行っている研修を定期的に継続していくことが大切だと考えています。今後は医療依存度の高い方がますます増え、認知症の方の増加も予測されています。地域包括ケアシステムの中で必要なサービスや多職種をつなぎ適切なケアを提供できる訪問看護師が求められているのだと思います。利用者様一人ひとりの希望に沿った看護を提供し、住み慣れた地域で最期まで生活することを支援できる訪問看護師を目指して、これからも活動して参ります。(毎月第2日曜日掲載)